

ユーシン

景況レポート

Number.109
(2021.7~9月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業231企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし



概況(7月▶9月期)

業況は、全体低下、卸売業・サービス業・不動産業で改善

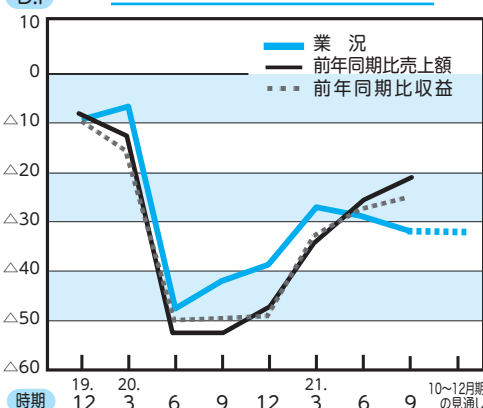
茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△31.6と、2021年4~6月期(前期)の調査より2.5%低下し、景況感は悪化しました。

業種別では、製造業で前期比6.7%、小売業で同比4.9%、建設業で同比16.5%低下しましたが、卸売業で同比2.8%、サービス業で同比3.2%、不動産業で同比27.7%改善しました。項目別では、売上額判断D.Iが△25.1と前期比4.4%、収益判断D.Iが△28.1と同比4.3%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△21.2、前期比5.2%、同収益判断D.Iが△24.2、同比4.4%ともに改善しました。

雇用面では、人手過不足判断D.Iが△6.9と前期比0.6%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比3.8%改善しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比1.3%低下しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が39.4%、「同業者間の競争激化」が29.4%、「利幅の縮小」が19.0%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「人手の状況をどのように認識していますか」の質問に対し、人手が不足している場合の職域では「現場作業関係」との回答が17.3%と最も多い結果となりました。なお、「適正」とする回答は70.6%でした。

D.I 全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I = 「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

業況の見通し判断D.Iは△31.6、当期実績比横ばいの見込

来期は、製造業・サービス業・建設業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比2.2%、収益判断D.Iでは同比5.6%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比0.4%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.3%低下、残業時間判断D.Iが同比横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が47.2%、「販路を広げる」が41.6%、「人材を確保する」が16.9%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

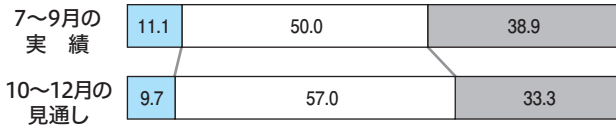
業種名	時期	3年4月~6月	3年7月~9月	3年10月~12月見通し	概	要
総合		☁	☔	☔	業況判断D.Iは、2.5%低下し△31.6。来期は、横ばいで△31.6の見通し。	
製造業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、6.7%低下し△27.8。来期は、4.2%改善し△23.6の見通し。	
卸売業		☔	☔	☔	業況判断D.Iは、2.8%改善し△42.4。来期は、9.1%低下し△51.5の見通し。	
小売業		☔	☔	☔	業況判断D.Iは、4.9%低下し△48.8。来期は、2.4%低下し△51.2の見通し。	
サービス業		☔	☔	☔	業況判断D.Iは、3.2%改善し△32.3。来期は、9.7%改善し△22.6の見通し。	
建設業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、16.5%低下し△22.2。来期は、2.8%改善し△19.4の見通し。	
不動産業		☔	☔	☔	業況判断D.Iは、27.7%改善し△5.6。来期は、16.6%低下し△22.2の見通し。	

好調 ← ☀ ☁ ☔ → 低調
 業況改善 ↗ 業況悪化 ↘ 業況変化なし →

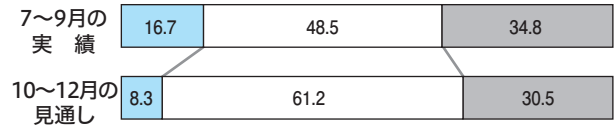
■ 製造業

回答企業数72企業(回答率100%)

【業況】



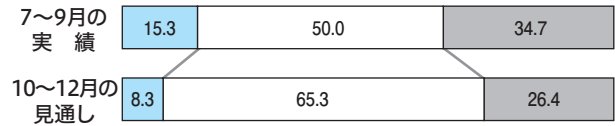
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△27.8、前期比6.7%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△18.1と前期比11.1%、収益判断D.Iが△19.4と同比8.1%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△11.1、前期比15.7%、同収益判断D.Iが△15.3、同比12.9%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△2.8と前期比2.8%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と前期比5.7%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%（前期21.1%）、「予定あり」が13.9%（同9.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は15.3%（前期7.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.7%、「利幅の縮小」が27.8%、「原材料高」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

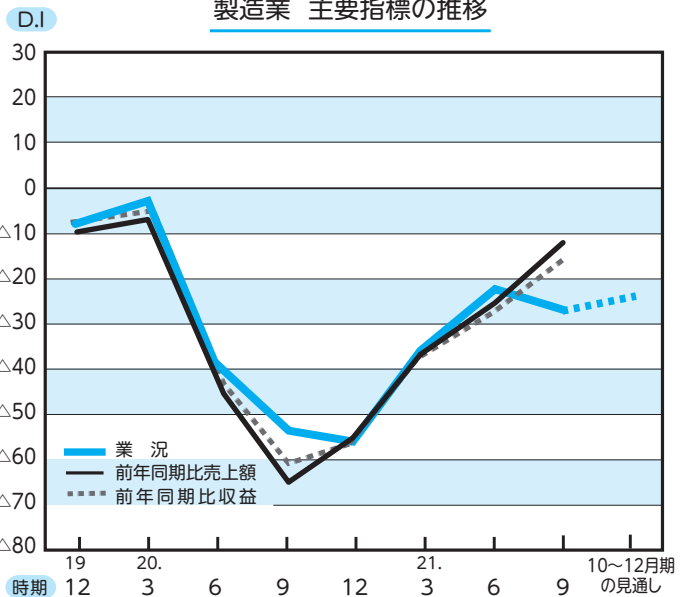
業況の見通し判断D.Iは△23.6、当期実績比4.2%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.1%低下、収益判断D.Iが同比1.3%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.4%改善、残業時間判断D.Iが同比4.1%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が52.8%、「経費の節減」が41.7%、「人材を確保する」が20.8%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



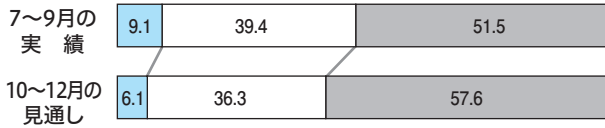
調査員のコメントから

コロナ禍の中、受注は概ね順調に推移していたが、9月に入り大手自動車メーカーの減産に伴い受注は低調推移見通し。尚、従業員は高齢化が進み若手社員の採用が今後の課題である。

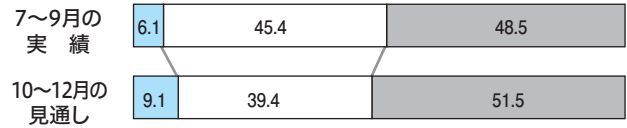
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

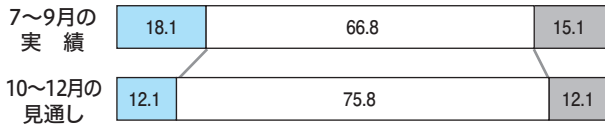
【業 況】



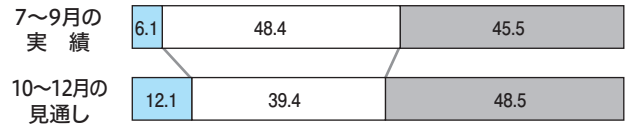
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△42.4、前期比2.8%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△42.4と前期比3.7%低下、収益判断D.Iが△39.4と同比2.5%改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△39.4、前期比3.9%低下、同収益判断D.Iが△36.4、同比5.5%改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが3.0と前期比9.5%改善し、人手不足感がやや増加に転じました。また、前期比残業時間D.Iは△24.2と前期比4.8%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.3% (前期16.1%)、「予定あり」が6.1% (同6.5%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1% (前期0.0%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が69.7%、「同業者間の競争激化」が24.2%、「取引先の減少」が21.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

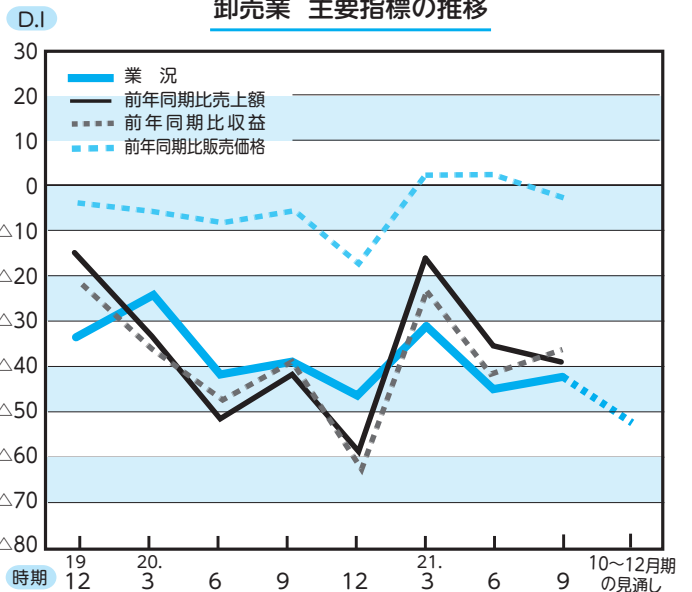
業況の見通し判断D.Iは△51.5、当期実績比9.1%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iが同比3.0%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比3.0%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比6.0%低下、残業時間判断D.Iが同比3.0%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が63.6%、「経費の節減」が42.4%、「情報力の強化」が18.2%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



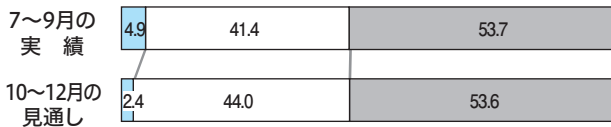
調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響により受注減少していたが、少しずつ改善傾向にある。また、作業場の衛生面管理を強化し、安全な商品提供を心掛けている。

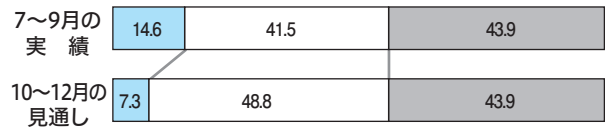
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

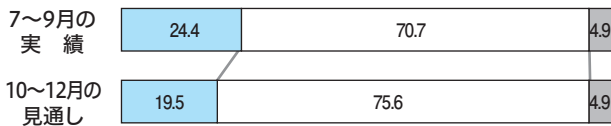
【業 況】



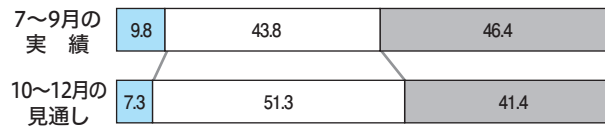
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△48.8、前期比4.9%の低下



項目別では、売上額判断D.Iが△29.3と前期比2.4%改善、収益判断D.Iが△36.6と同比4.9%低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△39.0、前期比横ばい、同収益判断D.Iが△39.0、同比2.4%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△4.9と前期比横ばいにより、人手不足感に改善が見られません。また、前期比残業時間D.Iは△14.6と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.0% (前期24.4%)、「予定あり」が14.6% (同7.3%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は7.3% (前期4.9%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.5%、「大型店との競争激化」が36.6%、「同業者間の競争激化」が29.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

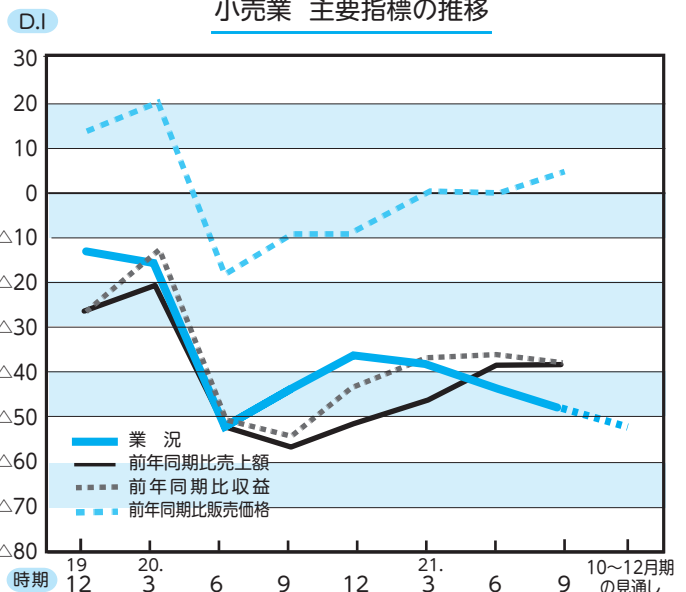
業況の見通し判断D.Iは△51.2、当期実績比2.4%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比7.3%低下、収益判断D.Iが同比2.5%改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比2.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比2.5%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.7%、「品揃えを改善する」が29.3%、「宣伝・広告の強化」が17.1%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



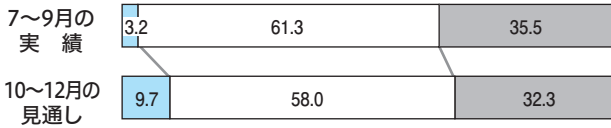
調査員のコメントから

新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛や、学校の行事・部活動の自粛により売上が減少する一方で、ネット販売に注力し売上増加に努めている。

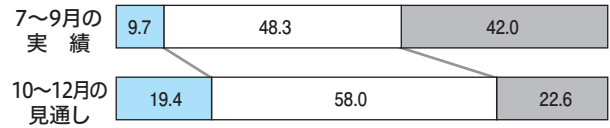
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

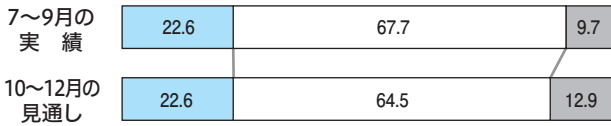
【業況】



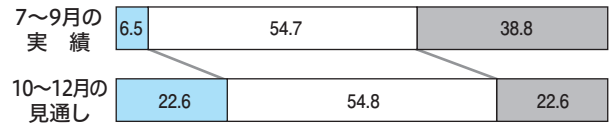
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△32.3、前期比3.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△32.3と前期比16.2%、収益判断D.Iが△32.3と同比16.2%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比9.7%、同収益判断D.Iが△3.2、同比16.2%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.9と前期比12.9%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△12.9と前期比9.7%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.1% (前期19.4%)、「予定あり」が6.5% (同3.2%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は16.1% (前期9.7%) となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が35.5%、「売上の停滞・減少」が32.3%、「人手不足」が19.4%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

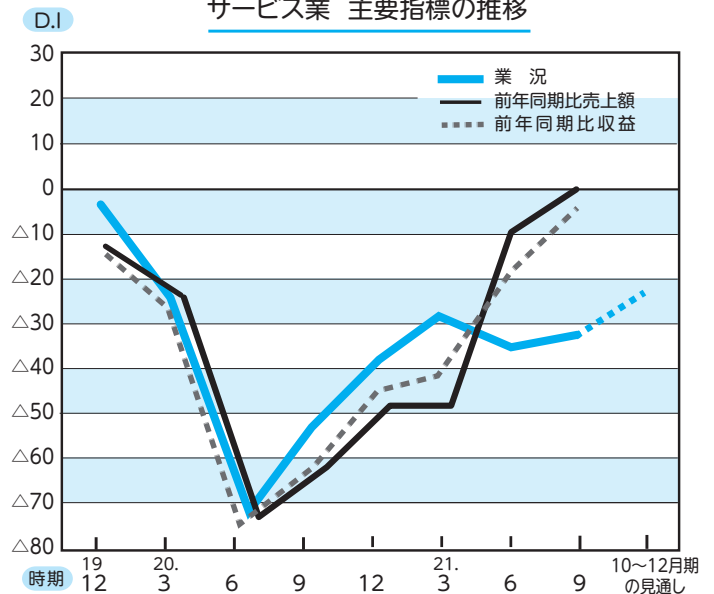
業況の見通し判断D.Iは△22.6、当期実績比9.7%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比29.1%、収益判断D.Iが同比32.3%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.2%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%低下、残業時間判断D.Iが同比3.2%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が54.8%、「販路を広げる」が45.2%、「人材を確保する」が19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



調査員のコメントから

来店客を予約制にするなどの取組みを継続中。また、丁寧なアフターフォロー等により固定客の確保に努めている。一方、若年層の人材確保が課題であり福利厚生充実の充実に努めている。

■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

【業況】

7~9月の実績	13.9	50.0	36.1
10~12月の見通し	13.9	52.8	33.3

【売上額】

7~9月の実績	16.7	47.2	36.1
10~12月の見通し	16.7	52.7	30.6

【材料価格】

7~9月の実績	50.0	44.4	5.6
10~12月の見通し	41.7	52.7	5.6

【収益】

7~9月の実績	11.1	52.8	36.1
10~12月の見通し	8.3	58.4	33.3

■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△22.2、前期比16.5%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△19.4と前期比5.1%、受注残判断D.Iが△22.2と同比5.1%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△33.3、前期比13.3%、同収益判断D.Iが△38.9、同比18.9%ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.4と前期比5.1%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△19.4と前期比8.0%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が30.6%(前期34.3%)、「予定あり」が25.0%(同25.7%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は13.9%(前期14.3%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が44.4%、「同業者間の競争激化」が38.9%、「利幅の縮小」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

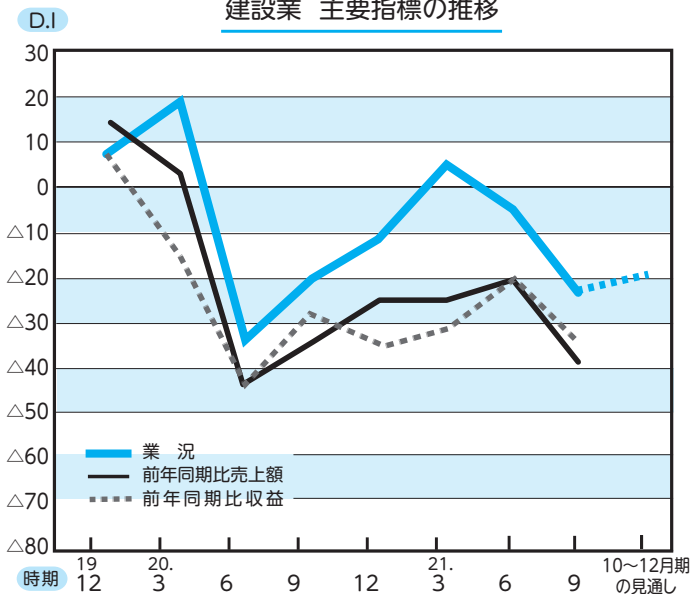
業況の見通し判断D.IIは△19.4、当期実績比2.8%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.5%改善、収益判断D.Iが同比横ばいを見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比8.3%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%低下、残業時間判断D.Iが同比2.7%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が55.6%、「販路を広げる」が38.9%、「人材を確保する」が36.1%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



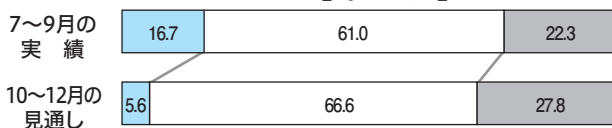
調査員のコメントから

ウッドショックにより材料費が高騰しており、収益を圧迫している。また、若年層の従業員が少なく人材確保が課題である。

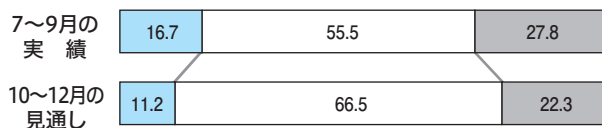
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

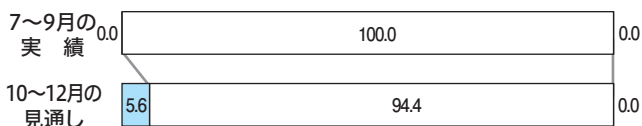
【業況】



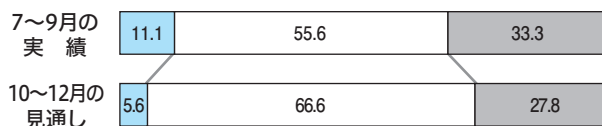
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△5.6、前期比27.7%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△11.1と前期比27.8%、収益判断D.Iが△22.2と同比16.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比22.2%、同収益判断D.Iが△11.1、同比11.1%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比11.1%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比33.4%改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.2% (前期33.3%)、「予定あり」が22.2% (同27.8%)を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「商品物件の不足」がそれぞれ38.9%、「大手企業との競争激化」が33.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

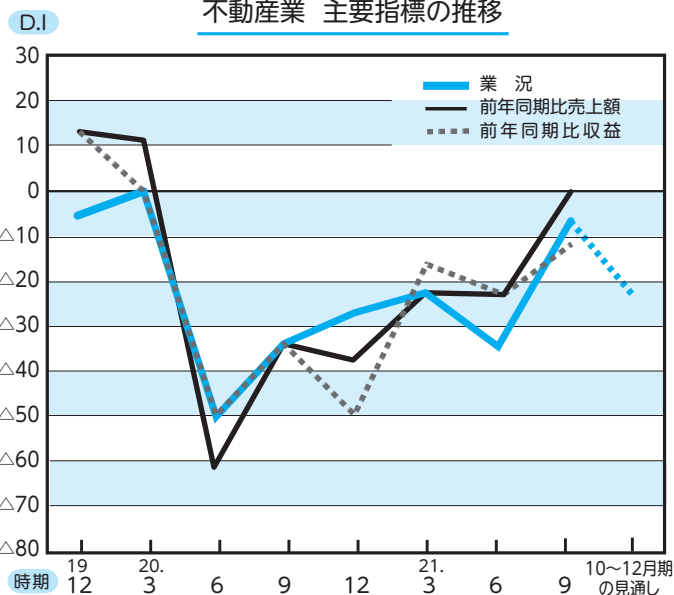
業況の見通し判断D.Iは△22.2、当期実績比16.6%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比横ばい、収益判断D.Iでも同比横ばいを見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5%改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.5%改善見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が50.0%、「情報力の強化」が44.4%、「経費の節減」・「宣伝・広告の強化」がそれぞれ33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

新型コロナウイルスの影響は軽微に抑えられており、長年の業歴と知名度や営業実績により売上回復に努めている。

特別
調査

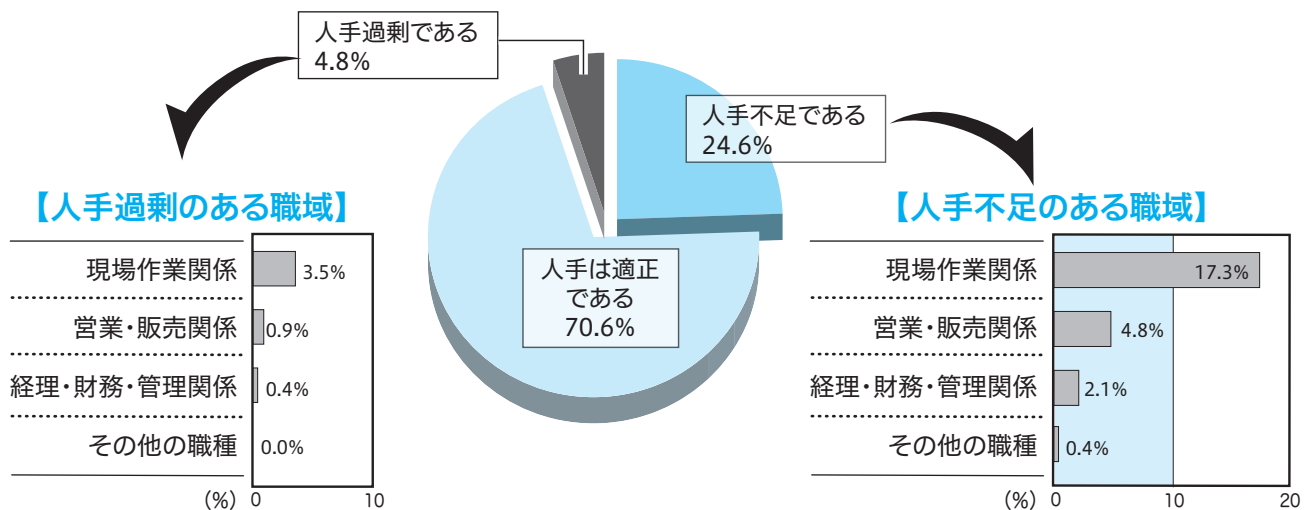
中小企業の雇用環境について

「中小企業の雇用環境について」の調査を実施しました。

「人手の状況をどのように認識していますか」の質問に対し、人手が不足している場合の職域では「現場作業関係」との回答が17.3%と最も多い結果となりました。なお、適正とする回答は70.6%でした。

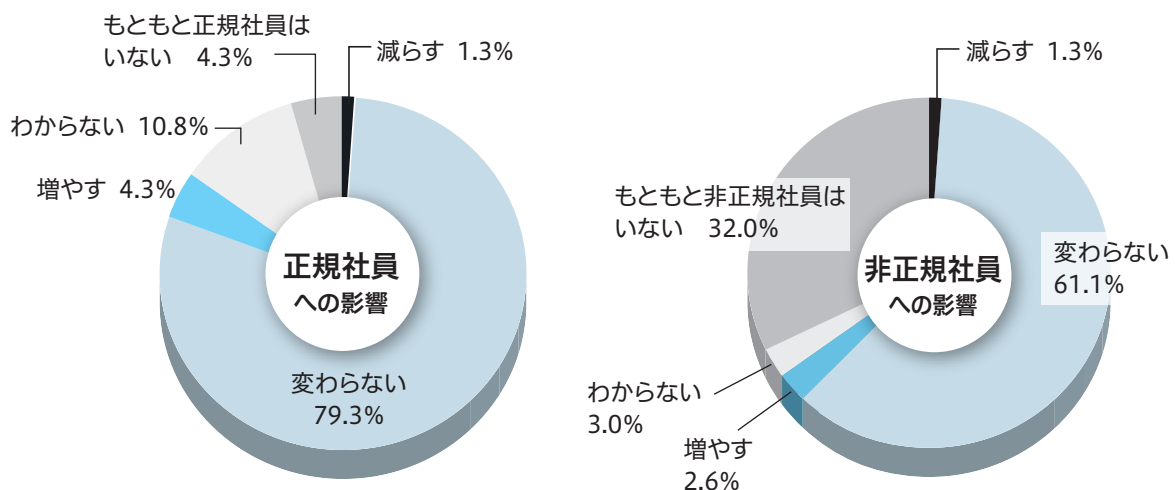
そのほか、「人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか」を、次のように取り纏めました。

問1 人手の状況をどのように認識していますか。また、過不足のある職域をお答えください。



問2

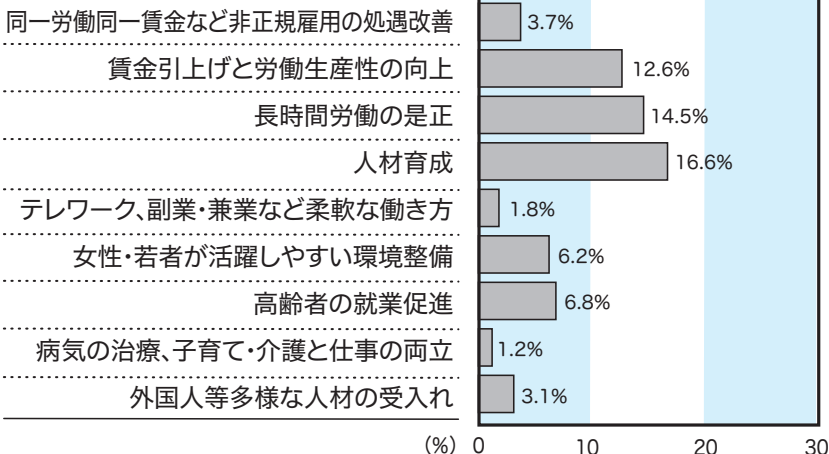
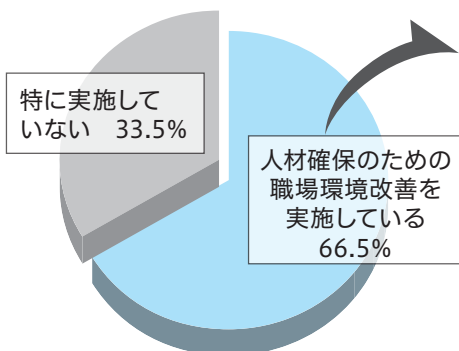
政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました(2020年を除く)。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。正規社員への影響・非正規社員への影響についてそれぞれお答えください。



問3 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。

【職場環境改善へ向けての実施内容】

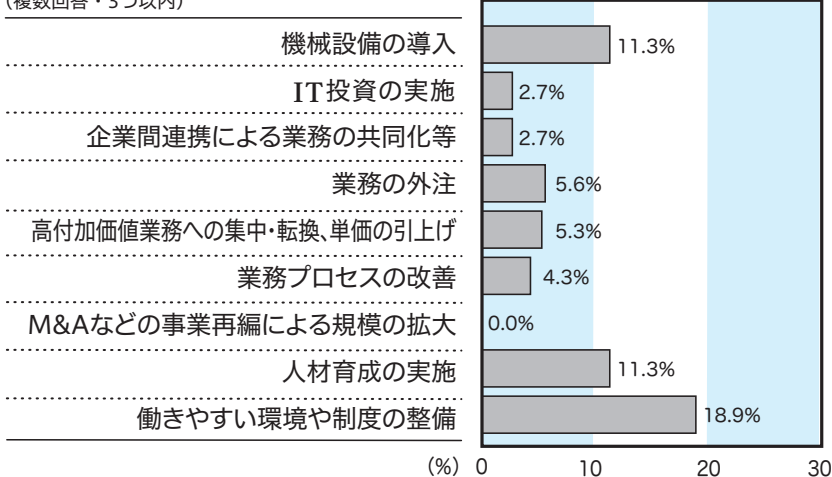
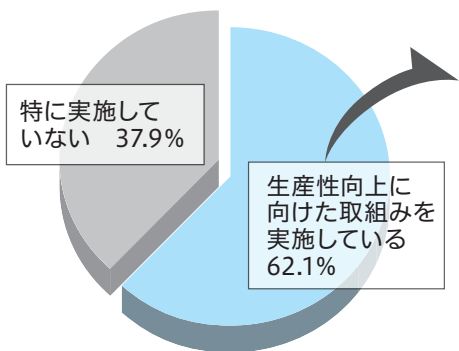
(複数回答・3つ以内)



問4 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。

【生産性向上に向けた取組みの実施内容】

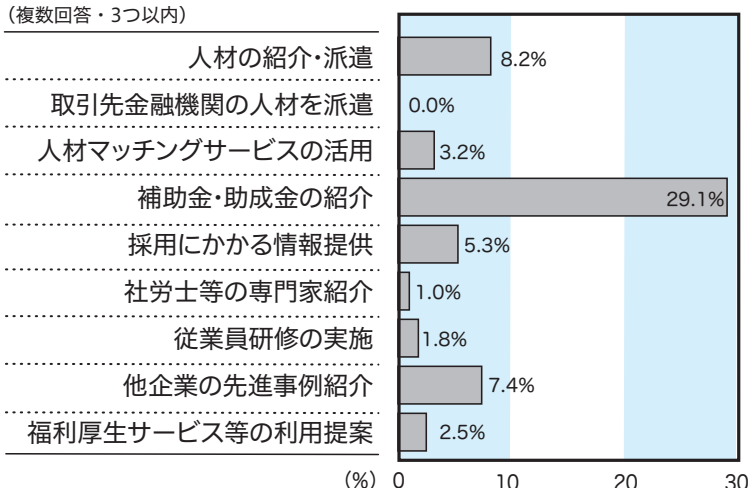
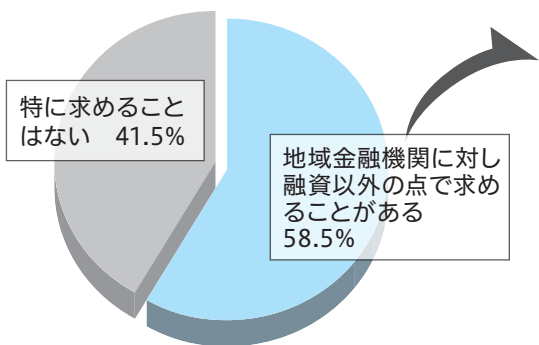
(複数回答・3つ以内)



問5 貴社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。

【地域金融機関に対し求めること(融資以外)】

(複数回答・3つ以内)



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただく
と結城信用金庫のホームページに
アクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ① 当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ② 手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③ 当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 **500万円以内**
ご利用期間 **10年以内**

ブライダルローン

ご融資金額 **500万円以内**
ご利用期間 **10年以内**

カーライフプラン

ご融資金額 **500万円以内**
ご利用期間 **10年以内**

教育プラン

ご融資金額 **500万円以内**（*1）
ご利用期間 **10年以内**（*2）

子育て応援プラン

ご融資金額 **100万円以内**
ご利用期間 **10年以内**

リフォームプラン

ご融資金額 **1,000万円以内**
ご利用期間 **15年以内**

（*1）6年制大学の場合は1,000万円以内

（*2）6年制大学の場合は16年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

結城信用金庫は2022年5月26日
創立120周年を迎えます。

これからも地域の皆さまとともに
歩んでまいります。変わらぬご支援を
お願い申し上げます。

2023年版カレンダー 「ユースンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい
風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！
応募作品の中から優秀作品を選定し、2023年のカレンダー
に採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユースン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>